

全日本病院学会 in 京都

令和6年9月28日(土)～29日(日)にかけて京都で全日本病院学会が開催されました。

当医院からもポスター発表されたお二人にインタビューさせていただきました。



Q1.今回学会に参加された経緯を教えてください

一年前一般病棟では吉井主任の発案でスタッフ間のコミュニケーションを強化する目的でブリーフィングというコミュニケーションツールを取り入れ抱えている業務や課題、進捗状況をチームで共有する取り組みを行っていました。

この取り組みを学会で発表してみないかと吉井主任に誘っていただいたことが学会に参加するきっかけとなりました。

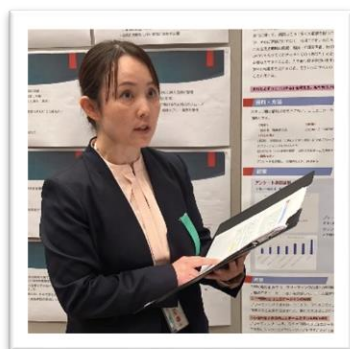
Q2.実際に参加されてどのようなことが印象に残りましたか？

今回私たちは「多重課題」に看護チームで挑むというテーマでポスターを発表しました。その中でご質問をいただき説明をするなかで「多重課題」や「世代間のコミュニケーション」など同じ悩みを抱えている方が多くいることが分かりとても印象に残っています。また他の病院の方々とのコミュニケーションの取り方などとても勉強になりました。

Q3.学会に参加された感想や今後の目標などありましたらお願いします

学会でポスター発表するという事でとても緊張しました。発表が終わったときの達成感は忘れることはないと思います。この一年間学会までの道のりはとても大変でしたが吉井主任をはじめ皆さんにご指導いただき無事終えることができました。このような機会と経験をさせていただいたことに感謝しています。

この経験で学んだことを同僚や後輩にも伝えていきたいと思っています。



一般病棟 前田副主任

Q1.今回学会に参加された経緯を教えてください

介護医療院で取り組んでいる自立支援の成果を発表したいという思いは1年ほど前からありました。

去年広島で開催された全日本病院学会に参加した職員より当院と同じくらいの規模の病院の方々がたくさん発表されていたと聞き今年度の学会の参加を決めました。

Q2.実際に参加されてどのようなことが印象に残りましたか？

患者さんによりよいケアを実施していくには多職種での連携、情報共有が大切であるということが印象に残っています。

Q3.学会に参加された感想や今後の目標などありましたらお願いします

一般演題の口演やポスター発表を聞き日々のケアの中で疑問に思うこと改善したいと思うことについて取り組むことは専門知識を深めることになること、患者さんへのケアの質を向上することに繋がると思いました。今後も自立支援への取り組みを続け利用者の方のQOLを向上していきたいと思っています。



介護医療院 貝原主任



今回学会に参加された皆さまお疲れ様でした。

それぞれ準備や他病院の方が多く参加されている中での発表は大変なものだったと思いますがこの経験は同僚や後輩にとっていい刺激になったことと思います。

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。

